

地方創生交付金対象事業等の実施結果について

No	① 交付対象事業の名称	② 事業概要	③ 平成30年度の主な事業	④ 交付金額 (千円) (事業費の 1/2)	⑤ 本事業における目標値				⑥ 当初数値		⑦ 最新実績値 最新実績値の 年度目標値	⑧ 実績値を踏まえた事業の今後について			⑨ 外部有識者からの評価(事務局案)			
					指標①	指標②	指標③	指標④	30年度	26年度		29年度	29年度	30年度	30年度	30年度	30年度	30年度
1	はりまクラスター型サイクルスタイルの構築 (地方創生推進交付金事業)	・播磨地域は平野が多く、環境に優しい自転車等の活用が可能 ・駅やバス停留所にレンタサイクルの拠点及びサイクリングロードを整備し、播磨圏域で自転車クラスターを構築 ・観光客の行動範囲を広げ、姫路城プラスワンを推進	・サイクルステーションの運営 ・PR動画の制作、配信 ・広域サイクリングマップの作成 ・夢前川サイクリングロードの整備	8,516	指標①	総入込客数	9,829,600	人	30年度	9,148,000	26年度	9,659,200	9,873,000	29年度	○地方創生に相当程度効果があった	○事業の継続	3年度計画の交付金事業は終了したが、引き続き播磨圏域の自転車活用促進事業を展開する。	○総合戦略のKPI達成に有効であった
指標②	観光施設等入込客数における市内施設への宿泊客の割合	9.5	%	30年度	8.3	26年度	9.2	8.3	29年度									
指標③	観光案内所(姫路観光ナビポート)での外国人観光客対応者数	20,000	人	30年度	10,872	26年度	16,000	27,591	30年度									
2	姫路・石巻縁推進事業 (地方創生推進交付金事業)	・現在姫路市は石巻市に人的な支援(直接的な「絆」)を行っているが、間接的な支援「縁」も含め交流を深める。 ・地酒やさば、かきなどの競演により東京でPRや石巻市の強みを活用した石ノ森展示会の開催などを実施し交流を図る。	東京での商談会やイオン泉南店での合同販売会 ・石ノ森草太郎関連展示会、アニソンライブの開催 ・世界遺産姫路城マラソン大会等での交流事業	12,878	指標①	総入込客数	9,829,600	人	30年度	9,148,000	26年度	9,659,200	9,873,000	29年度	○地方創生に相当程度効果があった	○予定通り事業終了	3年度計画の交付金事業は終了した。この事業により得たノウハウを今後の事業に活用していく。	○総合戦略のKPI達成に有効であった
指標②	清酒製造業の製造品出荷額等	1,890,000	千円	30年度	1,615,310	25年度	1,821,322	1,834,260	27年度									
指標③	漁業者数	889	人	30年度	889	27年度	889	824	30年度									
3	東京オリンピック・パラリンピックの効果が次世代に引き継がれるレガシーの創出 (地方創生推進交付金事業)	・東京オリンピック・パラリンピックはスポーツ文化醸成には絶好の機会 ・姫路市には歴史文化のみならず市民文化が豊かであり、それらを担う人材育成等が必要 ・スポーツ・文化・観光を融合し人材育成、情報発信を行う	・オリンピアン等による体験行事 ・ラッピング広告 ・お城EXPO出展 ・体験型プログラムのブラッシュアップ	9,192	指標①	姫路城の外国人観光客数	310,000	人	30年度	306,348	27年度	310,000	386,909	30年度	○地方創生に相当程度効果があった	○事業の継続	引き続きスポーツ・文化・観光の各方面から事業を展開し、人材育成、情報発信を図る。	○総合戦略のKPI達成に有効であった
指標②	関連スポーツ施設の動員数(姫路市、佐用町、加西市の合算)	393,718	人	30年度	388,111	27年度	393,718	376,359	30年度									
指標③	コンサート等の入場者数(姫路市、佐用町、加西市の合算)	3,310	人	30年度	1,902	27年度	3,310	3,578	30年度									
4	民間交流から始まるインドネシアおとだちプロジェクト (地方創生推進交付金事業)	・旅行者、教育機関、自転車愛好家など民間で始まっている播磨とインドネシアの連携を強化 ・本市の強みである①姫路城②サイクリング③雪・スキー場④豊穡の国はりまを主なツールとして、官民による運営組織を設立し、文化、教育、観光、産業など多方面からの交流を推進	・インドネシア文化紹介のブース出展 ・ハラルセミナーの開催 ・飲食店等に対するハラル対応指導 ・旅行博への出展 ・商談会への参加 ・ファムツアーの実施 ・SNS、ネットTVを活用したPR	11,695	指標①	インドネシア人の観光消費額	350,000	千円	31年度	327,376	28年度	340,000	753,014	30年度	○地方創生に非常に効果的であった	○事業の継続	3年度計画のため、さらなる事業を展開し、文化、教育、観光、産業など多方面から交流促進を図る。	○総合戦略のKPI達成に有効であった
指標②	日本・インドネシア間のツアーの数	5	ツアー	31年度	0	28年度	5	7	30年度									
指標③	ムスリムフレンドリー事業所数(個別指導した事業所数)	15	事業所	31年度	0	28年度	10	17	30年度									
5	酒米の王様・山田錦を擁する日本酒のふるさとはりまプロジェクト (地方創生推進交付金事業)	・播磨は酒米の王様「山田錦」の生産地であることや豊かな自然が生み出す名水により、多くの酒蔵が集まる酒造りの地 ・日本酒及び山田錦の特性や歴史を分析し、新たな魅力を発掘する。	・日本酒にかかる研修の実施 ・播磨日本酒ガイド等の作成 ・麹文化の小冊子、マンガの作成 ・ファムツアーの実施 ・海外での見本市への出展 ・全国酒まつりの開催 ・鉄道とのタイアップイベントの実施	10,291	指標①	清酒製造業の製造品出荷額等(千円)	1,938,827	千円	31年度	1,762,570	26年度	1,821,322	1,834,260	27年度	○地方創生に相当程度効果があった	○事業の継続	3年度計画のため、さらなる事業を展開し、日本酒及び山田錦の特性や歴史を分析し、新たな魅力を発掘する。	○総合戦略のKPI達成に有効であった
指標②	総入込客数	10,296,000	人	31年度	10,266,000	28年度	9,659,200	9,873,000	29年度									
指標③	「豊穡の国・はりま」のブランドのうち酒蔵の登録団体数	10	団体	31年度	4	28年度	8	7	30年度									
6	空がつなぐまち・ひとづくり交流事業 (地方創生推進交付金事業)	・加西市、大分県宇佐市、鹿児島県鹿屋市と連携し、平和都市ブランドを通じたPR事業の展開	・協議会の設立 ・プロモーション計画策定	750	指標①	平和資料館の来場者数	18,500	人	33年度	17,770	28年度	17,910	15,761	30年度	○地方創生に効果があった	○事業の継続	5年度計画のため、引き続き事業を継続する。	○総合戦略のKPI達成に有効であった
7	姫路市伊勢自然の里・環境学習センターの整備 (地方創生拠点整備交付金事業)	講義室棟の拡張やジャコウアゲハとカトムシの森の新設、歩路のインターロッキングにより、学校等団体利用がしやすい施設に整備する。	・講義室軒の拡張 ・ジャコウアゲハ、カトムシの森の設置 ・歩路のインターロッキング	交付金はH29のみ	指標①	伊勢自然の里・環境学習センターの利用者数	12,600	人	32年度	11,491	27年度	12,200	14,407	30年度	○地方創生に非常に効果的であった	○予定通り事業終了	施設整備は平成29年度に完了。引き続き市外学校からの利用受入れ増やすことなどにより交流人口の増加を目指す。	○総合戦略のKPI達成に有効であった
指標②	伊勢自然の里・環境学習センターの市外学校からの利用受け入れ校数	16	校	32年度	6	27年度	10	11	30年度									
指標③	環境学習イベント等への市外からの参加者数	89	人	32年度	24	27年度	49	127	30年度									
8	姫路城周辺の保全・環境整備 (企業版ふるさと納税事業)	イオン(株)からの寄付金を活用し、サムライガーによる環境啓発活動や、姫路城及びその周辺の整備を行う。	・サムライガーによる環境啓発活動 ・園路整備工事 ・石垣の除草作業	-	指標①	姫路城の外国人観光客数	312,000	人	31年度	306,000	27年度	310,000	386,909	30年度	○地方創生に非常に効果的であった	○事業の継続	3年度計画のため、引き続き姫路城の保全・継承事業を展開する。	○総合戦略のKPI達成に有効であった

選択肢

- 地方創生に非常に効果的であった
- 地方創生に相当程度効果があった
- 地方創生に効果があった
- 地方創生に効果がなかった
- 追加等更に発展させる
- 事業内容の見直し(改善)
- 事業の継続
- 事業の中止
- 予定通り事業終了
- 総合戦略のKPI達成に有効であった
- 総合戦略のKPI達成に有効とは言えない